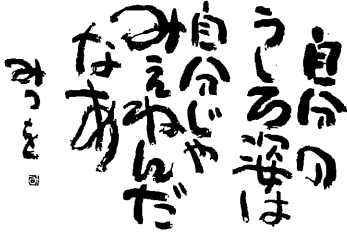


さくら第488号

令和 2年8月

## さくら

発行所 さくらそろばん  
発行者 平瀬重雄  
春江町境 17-7:TEL51-1337  
hirase@mx2.fctv.ne.jp

## 『人の振り見て わが振り直せ』

日々のそろばん学習のようすを見ていて思うことがあります。それは、大人になって仕事をする時の心の持ち方、やり方、毎日の過ごし方、周りの人たちとの接し方などと共通することがとても多くあります。

それでは、そろばん学習での皆さんの行動からみてみます。

玄関に入り下足入れにクツを置きますが両方の先をそろえずに乱雑に置く人がいます。

雨の時など、長グツの上のほうが棚にひっかかるからと、横に寝かせるので置き場所を倍以上とります。立てて置き、上の部分を少し曲げたり、靴の底を奥に入れれば場所も余分にとらず、楽に置けます。

教室に入る時、挨拶をせず下を向きながら黙って入る人がたまにいます。逆に、大きな声を出しながらドタドタと入り、練習中の妨げになる人もいます。

出席ハンコをおす間もなく、何時に帰れますか、今日は何をするのですか、学校でこんな事があったと、矢継ぎ早に言う人。

この連続乗除は難しいからイヤだ、みとり算のたてよこ問題は答えがなかなか合わないからやりたくない、割り切れない時はどうするのかなどなど、計算する以前の事で時間をとる人がいます。

よく話すことがあります。通塾カバンには問題集が入れてあるから着席したらすぐ取り出し、間違い直しをする。苦手な問題を練習する。みとり算を1題でもいいから計算し、もう一度やりなおしてその答えを確かめる。

指ならし練習として、5050を入れてその数から1から100までを引き、0になればいい。できるだけ何度も練習するようにと話していますが、すぐ実行せずぼんやりする人もいます。

教室に入ったらもう練習が始まっているのだという気持ちをいつも持つことが大事です。

このちよつとした時間をムダにせず、積み重ねる人と、言われるまで何もせず、ぼんやり待っている人とはやがて大きな差ができます。

タイムを計る時は、そろばんは左、問題裏返し、エンピツはなし手は膝と検定や大会と同じ条件で練習しますが注意される人がいます

練習中にできない事を試験中にできることはまずありませんから、ふだんの練習を真剣に全力で行うことが一番大事です。

エンピツの芯を削ってなく、先が丸く、短かいのでは小さい数字が書けません。1本しかない人もいます。3本あるがどれも芯が折れて使えないと先を指先でむしり取る人もいます。

それでは、大人になり仕事をする時の事を思い浮かべてみます。

朝、来たたん、今日はどんな仕事をするのですか、私はこの仕事はあまり好きでないから減らしてください。疲れているのでミスするかも知れません。この計算書はたぶん間違いないと思いますが自信ありません。今日もまた同じ仕事だからおもしろくないし、やる気がわかない。もっと楽な仕事にかえて欲しい。

このようなマイナス言葉や行動が続けば周りの人たちの気持ちもいらいだち、やる気が失せます。仕事は遊びではなく多くの人たちと協力して楽しく行わねばなりません。また、仕事で使う道具はきれいに大事にすることです。

そろばん学習で大切なことは、素直な気持ちで指導を受け、自分なりの工夫を重ね、うまくなりたい、合格してレベルアップを図るという向上心を持ち続け、あきらめずにコツコツがんばることです。

自分より上手い人のやり方、考え方、気持ちの持ち方をまねするのです。そのような行動が大人になって自分のものとなり役立ちます。